







ウインドウの左端に縦にアイコンが並んでいます。この縦長のエリアを バーといいます。一番上のアイコン()は で、フォルダやファイルをツリーで表示します。ここでのコンテンツは、アイコンで表現されますが、このアイコンを拡張()によって変更可能です。**Material Icon Theme** をインストールして、 をクリックして表示される設定メニューの のテーマで **Material Icon Theme** を選択してください。

 でフォルダを選択した状態で、 + + **F** キーで、フォルダ内にある ファイルを対象に、文字列検索を実行できます。例えば、**select** と入力して検索し、**-select-** と **select * from** 等が一覧として表示された場合SQL のみを対象としたい場合は、 をクリックして を使用します。検索用文字列は **[^]-select** と入力してください(置換処理も可能ですが、多くの失敗を避ける為ここでは使用しないでください)。

エディタで単一のファイルを開いている場合は、検索処理は **CTRL** + キーで文字列入力のツールが表示されます。置換する場合は、**CTRL** + キー です。**エディタ上の文字列を使用して検索**したい場合は、**ワードならば任意の場所をクリックして**、**CTRL** + キーで検索対象の文字列が決定して、 キー で次の文字列へ移動します。逆に戻りたい場合は、 キーを押しながら先ほどのキーを押します。**エディタ上の文字列を使用して置換**したい場合は + + **L** キーです。その後置換したい文字列を入力すると全てが変更されます(または、右クリックして**全ての** を**変更**)。

矩形選択をしたい場合は、 + でカーソルをドラッグして下さい。また、コピーしたソースコードを貼り付けした場合、自動フォーマットの機能で元の形が崩れた場合は、 + **Z** キーで戻してみてください。

エディタのコマンドに、**末尾の空白のトリミング**というものがありますが、ソースコードの編集時にどうしても発生するので + + **DELETE** キーに設定してあります。この機能を UI から実行するには、**ステータスバーの右下のキャラクタセットの左横の表示(スペース: 4 UTF-8)**をクリックして実行します。これ以外にも、 と の相互一括変換のコマンドも実行できます。

その他全てのエディタ表示を閉じるコマンドを **CTRL** + キーに、 の表示を全てキャンセルするコマンドを**CTRL** + キーに登録しています。大文字小文字への変換は、**CTRL** + キーと **CTRL** + キーに登録しています。

拡張には、**VS Browser** という拡張があり、Visual Studio Code 内で localhost を表示する為のブラウザを使用できるようになっていますが、 の実装で sandbox が有効になっておらず、 のような OK・CANCEL を選択するようなダイアログを表示する事ができません。ショーシカットは + + **B**キー に登録してあります。UI から表示するには、ステータスバーの右下に **VS Browser** とありますのでクリックしてください。